

# オホーツクの風

平成25年8月7日(木) 0009号

発行所  
北見赤十字病院の  
明日を考え支援する会  
事務局  
北見市緑ヶ丘1-10-16  
Tel 0157-61-0684

## 荒川副院長先生との懇談

### 総会後の講演のお礼をかねて

平成25年7月2日午後、今年度の総会終了後に講演をお願いするなど、お世話になってる北見赤十字病院副院長兼第一麻酔科部長・荒川穰二さんにお目にかかり、そのお礼と懇談を致しました。

#### 新病院への取り組み

荒川 病院長の思いとしては、新病院の外来に来院患者さんを出るだけ短時間で効率よく検査、そして治療して帰っていただくことを考えています。それに向けたシステムの整備ですね。

外来の受付に始まってどのような形で患者さんに案内して、診療して検査、診察を含めて効率よくやっていくか、システムを検討して



入院患者さんの移動もあるのですが、当院は3次医療を含めた救命救急センターとして、救命救急の患者さんをまったく受け入れられないとか、手術を全面的にストップして引越

をするなど出来ません。病院長のお考えなのですが出来るだけそこは地域の方に迷惑をかけないで、また入院患者さんの手術も出来るだけ減らさないような形で無事に引越せたらいいと思っています。

引越しそのものは8月最後の金曜日の診療を終えてから準備、移転できるものは移転して、土、日に完全に実施の予定です。

#### 総会後の講演会の様子

谷川 本日はお忙しい処、有り難うございました。

引越しに關しても部会があるので、いろいろ検討しているところですよ。

「北見赤十字病院 雑考」副院長、麻酔医として」と題した講演は、副院長として新病院の建設進行、また震災時には日赤病院の代表として現地に駆けつけられる。病院では臨床にかかわり北見赤十字病院の手術室の責任者で、日本麻酔科学会専門医・指導医として、年間約4500例の手術症例の運営に關与され、麻酔科管理手術症例年間



また、日本救急医学会専門医として、救命救急センターの運営に携わられています。

さらにオホーツク地域のメディカルコイントロール医師として救命救急士をはじめ救急隊の教育に携わっています。また、日本集中治療医学会の専門医として、集中治療室の(ICU)責任者を兼任されて



この日集まった一般参加者の方も、良いい話が聞けたと感想をいただきました。地域医療支援病院として今後とも、よろしく願いたします。

北見赤十字病院においても手術室での全身・局所麻酔、救急医療、集中治療、ペインクリニックなど、人道・博愛の理念の下、地域の期待と信頼にこたえて下さっています。

約2900例を制御、指導、経験されています。